

第2学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術2・3(光村図書)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ 授業の様子や発言内容 ワークシート等への記述内容 作品 テスト(小テスト・実技テスト・定期テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ 授業の様子や発言内容 ワークシート等への記述内容 作品 テスト(小テスト・実技テスト・定期テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ 授業の様子や発言内容 ワークシート等への記述内容 作品 テスト(小テスト・実技テスト・定期テスト)

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 主題を考え、これまでに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
----	--

- ・生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイデアを貯めておきましょう。
- ・いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの実感と広がり・多彩な表現に挑むのはなぜだろう・あなたの美を見つけて・この教科書で学ぶみなさんへ <p>○その一枚が人を動かす（絵画）</p> <p>○浮世絵はすごい（鑑賞）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な浮世絵 	<p>2年生の美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、この1年で学ぶことや、これからの学習の見通しをもつ。</p> <p>美しく印象に残るポスターを鑑賞し、伝達の効果を視点にイラストレーションや写真と文字の形や色彩を工夫して情報や気持ちを分かりやすく的確に表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい情報やイメージをもとに、形や色彩、写真やイラストレーション、文字による伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 <p>浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浮世絵の表現の良さや特性などに関心を持ち、意欲的に鑑賞する。
2 学期	<p>○視点の冒険（絵画）</p> <p>「透視図法による表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立体感、奥行き感のある平面構成 ・色彩の特徴を深く知る <p>○文字で表現しよう（彫刻）</p> <p>「篆刻」</p>	<p>視点の違いによるイメージの変化を生かして表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見上げる、見下ろす、近づくなど視点の位置による見方の違いに着目し、そこから生じる印象の変化を捉え、画材の特性を生かして表す。 ・視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化をもとに、構図などの変化を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・立体的、奥行き感に表現する図法（透視図法等）について理解し、構成美の要素を考慮しながら主題を生み出す。 ・透視図法の描き方を知り、描きたいテーマを的確に表現する。 <p>自分の名前や性格、心のイメージなどから主題を生み出し、形を単純化、強調するなどして構想を練り、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に文字、彫刻（持ち手）で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の性格や自分の名前に対する思いを、想像力を働かせて文字でイメージして主題を生み出す。 ・主題を基に、自分自身を表す文字の形などをイメージし、表現の構想を練る。 ・主題を基に、塊から感じる存在感や、形から感じる動きなどを生かして表したい形を考え構想を練る。 ・表現方法や、形や色彩、材料を工夫して表す。 ・いろいろな方向から見て、立体としての塊や量感、動きを感じな

		<p>がら材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う方法を工夫して制作する。</p>
<p>3 学 期</p>	<p>○なんでこれが美術なの？（鑑賞）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの言葉 岡本太郎 ・岡本太郎 “芸術はみんなのもの” 	<p>現代美術に関心を持ち、物と場所、大きさ、形や色彩、制作の様子などに着目し、イメージを捉えるなどしながら、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代美術の多様な表現を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ・作品を通して、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、発表し合う。 ・発表意見や教師の解説、自分の考えから現代美術のよさや美しさ、面白さなどについてまとめる。

